

平成28年度

# 入学者選抜要項

平成27年7月

東京藝術大学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

# 目 次

1. アドミッションポリシー	1
2. 学部・学科及び入学定員等	2
〔表1〕(その1) 平成28年度東京藝術大学入学者選抜方法等（一般入試，専門高校・ 総合学科卒業生入試，アドミッション・オフィス入試）	3
〔表1〕(その2) 平成28年度東京藝術大学入学者選抜方法等（特別入試）	3
（一般入試）	
3. 出願資格	4
4. 試験日程・出願期間	4
5. 選抜方法	
(1) 大学入試センター試験	5
(2) 個別学力検査	5
(3) 実技検査（音楽学部「試験課題曲・試験内容」の発表日予告を含む。）	5
(4) 小論文	6
(5) 面接	7
(6) その他	7
〔表2〕 個別学力検査等の日程	8
〔表3〕 平成28年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について（美術学部）	10
〔表4〕 平成28年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について（音楽学部）	11
6. 私費外国人留学生	13
（特別入試）	
7. 帰国子女入試	13
〔表5〕 平成28年度東京藝術大学帰国子女入試	14
8. 東京藝術大学音楽学部SSP（Special Soloist Program）〔飛び入学〕入学者選抜	15
〔表6〕 平成28年度東京藝術大学音楽学部SSP（Special Soloist Program）〔飛び入学〕	16
9. 障害のある入学志願者の事前相談について	17
10. 平成28年度からの東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について	18
11. 個人情報の取扱いについて	21
12. 学部・学科の内容	22
13. 本学のキャンパス	24
14. 学生募集要項（一般入試）等の請求方法	25

本要項は、本学における入学者選抜の基本的事項について記載したものです。  
個別学力検査等の実施日時，出願手続，出願用紙類等を含めた「**学生募集要項**」  
は、別途発表します。発表時期等については、25頁を参照してください。

# 1. アドミッションポリシー

## 【美術学部】

美術学部では、125年を超える歴史のなかで、美術の各分野において、時代を代表する作家、研究者、教育者を輩出してきました。

本学部は、こうした伝統のなかで培われた創造性を身につけ、新たなる時代に対応し、優れたオリジナリティを発揮できる人材の育成を目的としています。本学部で学ぶ学生には、歴史のなかで蓄積された技芸と知識を修得し、さらにその成果を革新し、発展させ、広く世界の文化と社会のために貢献する能力が望まれます。

こうした理念を踏まえ、真摯な姿勢で教員とともに研鑽を積み、美術の世界に、豊かな収穫をもたらす学生を広く求めています。

## 【音楽学部】

音楽学部は、音楽についての深い学識と高い技術を授け、音楽の各分野における創造、表現、研究に必要な優れた能力を養い、社会的要請に応える人材の育成を目指しています。

この教育理念に基づき、本学部からは、百年以上に亘り世界的な音楽家や広く社会の文化発展に寄与した多くの人材を輩出してきました。

こうした伝統と遺産を継承しつつ、新たな歴史を刻み込む強い意志と意欲を持った方を求めています。具体的に本学部各科が求める学生像は次のとおりです。

### ○作曲科

優れた音楽的能力のみならず、伝統的な語法に関する確かな素養を身につけ、且つ自発性、創造性を有する人材

### ○声楽科

優れた声楽家になる可能性を持ち、智と人間性に優れた人材

### ○器楽科 ピアノ

優れたピアノ演奏技術と芸術的感性のみならず、音楽全般に対して幅広い関心をもっている人材

### ○器楽科 オルガン

確かな目的意識と意欲を持ち自分の才能をのばす熱意と忍耐力を持ち、音楽とオルガンに喜びを持って取り組む人材

### ○器楽科 弦楽

優れた基礎能力のみならず音楽表現に対する積極性を兼ね備えている人材

### ○器楽科 管打楽

演奏家として、人間と音楽に閃きを感じ持っている人材

### ○器楽科 古楽

専攻する楽器の構造と歴史に深い関心を持ち、喜びと熱意を持って演奏表現に取り組む将来性ある人材

### ○指揮科

優れたソルフェージュ力や豊かで説得力に富んだ音楽性を持ち、音楽的、芸術的に優れたリーダーシップを兼ね備えた人材

### ○邦楽科

専攻分野のみならず専攻以外の音楽にも幅広く研究を重ね、技術・人格共に優れた演奏家となるべく努力する人材

### ○楽理科

幅広い資料を検証する語学能力、独自の視点・問題点を発見する独創力、批判的に歴史・社会・文化を考察する思考力と論理性、様々な音楽に感動する柔軟な心を備え、将来何らかの形で音楽研究・実践・教育に携わる志を持つ人材

### ○音楽環境創造科

従来の枠をこえた観点で音楽芸術の創造をめざし、音楽・文化・社会の関わりについて強い関心を持ち、音楽を中心とした新しい文化環境創造を志す人材

## 2. 学部・学科及び入学定員等

学 部	学 科		入学定員 (人)	募 集 人 員 (人)			備 考
				前期日程	後期日程	帰国子女	
美術学部	絵画科	日本画専攻	25	25	—	—	帰国子女の募集 人員は若干人で 24人の中に含む。
		油画専攻	55	55	—	—	
	彫刻科	20	20	—	—		
	工芸科	30	30	—	—		
	デザイン科	45	45	—	—		
	建築科	15	15	—	—		
	先端芸術表現科	24*	24*	—	若干人		
	芸術学科	20	20	—	—		
	小 計	234*	234*	—	—		
音楽学部	作曲科	15	15	—	—		
	声楽科	54	54	—	—		
	器楽科	98	98	—	—		
	指揮科	2	2	—	—		
	邦楽科	25	25	—	—		
	楽理科	23	23	—	—		
	音楽環境創造科	20	20	—	—		
	小 計	237	237	—	—		
合 計		471*	471*	—	—		

※ 美術学部先端芸術表現科では、本学における教育研究組織の整備等に伴い、文部科学省へ入学定員改定の認可申請を行っています（本要項記載の定員は改定後のもの）。入学定員、募集人員については、文部科学省の審査の上確定するもので、現在のところ未確定です。  
 なお、定員の改定が認可された場合は、改めて入学定員、募集人員の変更について、本学ホームページにより公表しますので、必ず確認してください。

(注) 本学においては、2段階選抜、推薦入試、専門高校・総合学科卒業生入試、社会人入試、AO入試及び欠員補充第2次募集は行わない。

〔 取手校地では、美術学部先端芸術表現科の2年次以降に対して授業を行う。千住校地では、音楽学部音楽環境創造科が卒業時まで授業を行う。その他はすべて上野校地で授業を行う。  
 なお、従来取手校地で行っていた美術学部1年次の授業は、平成28年度より上野校地で実施する。 〕

上記の他に、下記の東京藝術大学音楽学部SSP (Special Soloist Program) [飛び入学] 入学  
 者選抜の募集があります。

学 部	学 科 等	募集人員	備考
音楽学部	器楽科ピアノ専攻	若干名	募集人員(若干名)は前期日程の募集人員に含む。
	器楽科弦楽専攻 ヴァイオリン	若干名	
	器楽科弦楽専攻 チェロ	若干名	

〔表1〕(その1)

平成28年度東京藝術大学入学者選抜方法等

(一般入試, 専門高校・総合学科卒業生入試, アドミッション・オフィス入試)

選抜方法等		個別学力検査等								専門高校・総合学科卒業生入試					アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考(欠員の補充の方法等)	
		実技検査等				2段階選抜				実技検査等								募集人員
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その者について必要等を行う	第1段階の選抜による合格者数	定員に対する倍率	その他	個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する				
美術学部	絵画科	日本画	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	8 頁 に 記 載	
		油画	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	彫刻科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	工芸科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	デザイン科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	建築科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	※2 先端芸術表現科	×	※1 ○	×	※3 ○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
音楽学部	芸術学科	○	※4 ○	×	※5 ○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		作曲科	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		声楽科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		器楽科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		指揮科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		邦楽科	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
音楽学部	楽理科	○	○	×	※6 ○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		※7 音楽環境創造科	○	×	※8 ○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

備考 ○印は、本学の学部・学科(専攻)により個別学力検査、実技検査等を課するものを示す。

※1・3 美術学部先端芸術表現科の第1次試験における実技検査又は小論文は、出願時に志願者がいずれかを選択する。

※2 美術学部先端芸術表現科の受験者は、予め個人資料ファイルを提出する。【7頁(6)その他参照】

※4・5 美術学部芸術学科の実技検査又は小論文は、出願時に志願者がいずれかを選択する。

※6 音楽学部楽理科の小論文については、口述試問を含む。

※7 音楽学部音楽環境創造科の志願者は、志望理由書(800字以内。所定の用紙に手書きで記入のこと)を願書とともに提出すること。

※8 音楽学部音楽環境創造科の面接については、自己表現を含む。

〔表1〕(その2)

平成28年度東京藝術大学入学者選抜方法等(特別入試)

選抜方法等		推薦入試								帰国子女・社会人等のための特別入試			備考
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。								推薦入試募集人員			
		個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査等									
学部・学科等名	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	その他	帰国子女	中国引揚等子女	社会人					
美術学部	先端芸術表現科	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	

## (一般入試)

### 3. 出願資格

次のいずれかに該当する者で、**本学の学部・学科で定める平成28年度大学入学者選抜大学入試センター試験**（以下「**大学入試センター試験**」という。）の**教科・科目のすべてを受験した者とする。**

【〔表3〕10頁・〔表4〕11頁参照】

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成28年3月31日までに、これに該当する見込みの者
  - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
  - ウ 専修学校の高等課程（修学年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
  - エ 文部科学大臣の指定した者
  - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成28年3月31日までに合格見込みの者で、18歳に達した者
  - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

（補足）出願資格（3）カにより出願を希望する者には、個別の入学資格審査を行うので、事前に本学事務局学生課（TEL 050-5525-2075）に申し出て相談（提出締切期限の1ヶ月以上前が望ましい。）のうえ申請書類を受け取り、本学が指定した書類等を下記の提出締切期限までに提出すること。提出締切期限は、①大学入試センター試験に出願する以前から本学に出願することを希望する場合は、平成27年8月31日（月）までとし、②大学入試センター試験に出願後、志望大学を変更して本学に出願することを希望する場合は、平成27年12月25日（金）までとする。

### 4. 試験日程・出願期間

本学の個別試験は、美術学部・音楽学部共に分離分割方式の前期日程により実施する。

本学（前期日程）に出願する者は、「前期日程」の他の大学・学部に出願できない。

他の国公立大学・学部の推薦入試合格者は、当該推薦入試を実施した大学・学部の定める推薦入試辞退手続により辞退を許可された場合を除いて、本学の入学試験を受験しても合格者とはならないので注意すること。

他の国公立大学・学部のAO入試に合格し、入学手続を完了した者は、当該AO入試を実施した大学・学部の定める手続により入学を辞退した場合を除いて、本学の入学試験を受験しても合格者とはならないので注意すること。

また、国公立大学・学部の「前期日程」試験に合格し、平成28年3月15日（火）までに入学手続を行った者は、「後期日程」の試験を受験しても、その合格者とはならないので注意すること。

- (1) 個別試験の検査項目等については、〔表1〕（その1）平成28年度東京藝術大学入学者選抜方法等（一般入試、専門高校・総合学科卒業生入試、アドミッション・オフィス入試）（3頁）・〔表2〕個別学力検査等の日程（8頁）により実施する。
- (2) 最終合格者の発表は、美術学部が平成28年3月13日（日）に、音楽学部が平成28年3月12日（土）に行う。
- (3) **個別試験の出願期間は、平成28年1月25日（月）から2月3日（水）までとする。**  
郵送による出願のみとし、郵便局の消印が上記期間内のものに限り受け付ける。

### 5. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査、実技検査、小論文、面接並びに出身学校長から提出された調査書の各資料を総合して判定する。

本学の個別試験は、数次に分けて選抜を行い、それぞれ合格者を発表する。合格しない者は、次の試験は受験できない。【〔表2〕8頁参照】

## (1) 大学入試センター試験

受験を要する教科・科目は、〔表3〕平成28年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について（美術学部）（10頁）、〔表4〕平成28年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について（音楽学部）（11頁）により実施する。各学部学科（専攻）が定める大学入試センター試験の教科・科目のすべてを受験すること。指定したとおりに受験していない者は、無資格者（失格）扱いとなる。なお、その場合には納入した検定料の一部が申請により返還される。

また、本学においては英語のリスニングテストを課しているので、外国語の筆記試験「英語」を選択受験した場合は、必ずリスニングテストも受験すること。受験しなかった場合も同様に、無資格者（失格）扱いとなる。

※本学では、大学入試センター試験の過年度成績は、利用しない。

## (2) 個別学力検査

### 美術学部

学 科	教 科	科 目
芸 術 学 科	地 理 歴 史	世界史B, 日本史Bから1科目を選択
	外 国 語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ）、ドイツ語、フランス語から1科目を選択

（絵画科、彫刻科、工芸科、デザイン科、建築科及び先端芸術表現科は課さない。）

（注）外国語の出題にあたっては、旧教育課程（平成11年3月文部省公示）を履修した高等学校卒業生等に対して不利にならないよう配慮する。

### 音楽学部

学 科	教 科	科 目
楽 理 科	国 語	国語（国語総合・現代文B・古典B）
	外 国 語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ）、ドイツ語、フランス語から1科目を選択
音 楽 環 境 創 造 科	音 楽	音楽（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）※高等学校で使用されている音楽の教科書「音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」程度を出題範囲とする。

（作曲科、声楽科、器楽科、指揮科及び邦楽科は課さない。）

（注）国語・外国語の出題にあたっては、旧教育課程（平成11年3月文部省公示）を履修した高等学校卒業生等に対して不利にならないよう配慮する。

## (3) 実技検査（音楽学部「試験課題曲・試験内容」の発表日予告を含む。）

### 美術学部

学 科	検 査 科 目	
絵 画 科	日本画専攻	鉛筆素描, 着彩写生
	油画専攻	素描, 絵画
彫 刻 科	素描, 彫刻	
工 芸 科	鉛筆写生, 平面表現, 立体表現	
デ ザ イ ン 科	鉛筆写生（注1）, デザインⅠ（色彩）, デザインⅡ（形体）	
建 築 科	空間構成, 総合表現	
先 端 芸 術 表 現 科	素描（注2）, 総合実技	
芸 術 学 科	鉛筆素描（石膏像）（注3）	

（注1）デザイン科の第1次試験「鉛筆写生」は、石膏像デッサン又は構成デッサンのいずれかを出願時に、志願者が選択する。

（注2）先端芸術表現科は、実技検査（素描）又は小論文のいずれかを出願時に、志願者が選択する。

（注3）芸術学科は、実技検査（鉛筆素描）又は小論文のいずれかを出願時に、志願者が選択する。

## 音楽学部

学 科	検 査 科 目
作 曲 科	専攻実技, 聴音書き取り, 楽典, 新曲視唱, リズム課題, 副科ピアノ, ピアノ新曲
声 楽 科	専攻実技 (新曲視唱・リズム課題・コールユーブンゲンを含む), 聴音書き取り, 楽典, 副科ピアノ
器 楽 科 (ピアノ)	専攻実技, 聴音書き取り, 楽典, 新曲視唱, リズム課題
器 楽 科 (オルガン, 弦楽器, 管打楽器)	専攻実技, 聴音書き取り, 楽典, 新曲視唱, リズム課題, 副科ピアノ
器 楽 科 [古楽 (バロックヴァイオリン, リコーダー, チェンバロ)]	専攻実技, 聴音書き取り, 楽典, 新曲視唱, リズム課題
指 揮 科	専攻実技, 楽典, 副科ピアノ, 和声
邦 楽 科	専攻実技, 楽典
楽 理 科	聴音書き取り, 楽典, 新曲視唱, リズム課題, 副科実技(注1), 和声
音 楽 環 境 創 造 科	実技検査を課さない。

(注1) 楽理科の副科実技は、ピアノ、オルガン、弦楽器、管打楽器、チェンバロ、邦楽器のいずれかで受験する。  
なお、ピアノ以外の副科実技(楽理科のみ)の試験曲は、ヴァイオリン及び邦楽器の場合を除き自由曲である(ヴァイオリン及び邦楽器については、課題曲を定める)。

### ●音楽学部「試験課題曲・試験内容」の発表について

試験課題曲・試験内容の発表は、以下の日時に発表し、音楽学部側守衛所及び音楽学部教務係で冊子の配付を開始する。試験課題曲・試験内容を記載した冊子を郵送により請求を希望する者は P27 を参照すること。なお、発表後 2 週間以内に本学ホームページ(アドレス <http://www.geidai.ac.jp/admission/music-2/application>)にも掲載する。

発 表 内 容	発 表 日 時
「聴音書き取り・楽典・新曲視唱・リズム課題・ピアノ新曲・和声」試験内容	平成27年7月23日(木)午後2時以降
副科ピアノ課題曲	
楽理科のピアノ以外の副科実技課題曲	
声楽科の専攻実技課題曲	平成27年9月10日(木)午後4時以降
声楽科以外の科の専攻実技課題曲	平成27年10月8日(木)午後4時以降
楽理科, 音楽環境創造科の試験内容	

### (4) 小論文

美術学部先端芸術表現科及び芸術学科は、出願時に小論文を選択した者に課する。

音楽学部楽理科は、小論文(口述試問を含む。), 音楽環境創造科は、小論文を課する。



## (5) 面接

音楽学部作曲科，邦楽科及び音楽環境創造科は，面接を行う。

(注) 音楽学部音楽環境創造科の面接は，自己表現を含む。

## (6) その他

美術学部先端芸術表現科の受験者は，予め個人資料ファイル（受験者の活動内容をまとめたもの。）を提出しなければならない。〔個人資料ファイル提出期間：平成28年2月15日（月）～2月19日（金）必着〕

音楽学部音楽環境創造科の志願者は，志望理由書（800字以内。所定の用紙に手書きで記入のこと）を願書とともに提出しなければならない。

〔表2〕

個別学力検査等の日程

学部・学科等名		選抜方法等	個別学力検査等の日程	
美術学	絵画科	日本画	1次(実技) 3月1日, 2日 2次(実技) 3月5日, 6日	
		油画	1次(実技) 2月25日 2次(実技) 3月6日, 7日, 8日	
	彫刻科		1次(実技) 3月4日 2次(実技) 3月7日, 8日	
	工芸科		1次(実技) 3月2日 2次(実技) 3月5日, 6日	
	デザイン科		1次(実技) 2月27日 2次(実技) 3月8日, 9日	
	建築科		実技 3月5日 ※一次合格者選抜は行わない 実技 3月6日	
	(注1) 先端芸術表現科		1次(実技) 2月25日 又は(小論文) 2月26日 2次(実技) 3月2日, 3日	
(注2) 芸術学科		1次(学力) 2月28日 2次(実技又は小論文) 3月6日		
音楽学	作曲科		1次(実技) 2月25日 2次(実技) 2月27日 3次(実技) 3月2日 4次(実技, 面接) 3月7日	
	声楽科		1次(実技) 2月25日, 26日 2次(実技) 2月29日, 3月2日 3次(実技) 3月4日, 7日	
	器楽科	ピアノ		1次(実技) 2月25日, 26日, 27日 2次(実技) 3月2日, 3日, 4日 3次(実技) 3月7日
		オルガン		(試奏日 2月26日) 1次(実技) 2月27日 2次(実技) 3月3日 3次(実技) 3月7日
		弦楽器		1次(実技) 2月25日, 26日, 27日 2次(実技) 3月3日, 4日 3次(実技) 3月7日
		管打楽器		1次(実技) 2月25日, 26日, 27日 2次(実技) 3月2日, 3日, 4日 3次(実技) 3月7日
		古楽		1次(実技) 3月4日 2次(実技) 3月7日
	指揮科		1次(実技) 2月29日 2次(実技) 3月3日 3次(実技) 3月5日, 7日	
	(注3) 邦楽科		1次(実技) 2月25日, 26日 2次(実技, 面接) 3月3日 3次〔実技(楽典のみ)〕 3月7日	
	楽理科		1次(学力) 2月27日 2次〔実技, 小論文(含, 口述試問)〕 3月2日, 3日, 4日, 5日, 7日, 8日 (注) 3月2日, 3日, 4日については, 副科実技をピアノ以外の楽器で受験する者を対象とする。	
音楽環境創造科		1次(学力) 2月25日 2次(小論文) 2月27日 〔面接(含, 自己表現)〕 3月2日, 3日, 4日, 5日		

(注1) 美術学部先端芸術表現科1次は, 実技検査又は小論文のいずれかを出願時に志願者が選択すること。

(注2) 美術学部芸術学科2次は, 実技検査又は小論文のいずれかを出願時に志願者が選択すること。

(注3) 音楽学部声楽科1次・2次, 音楽学部器楽科(ピアノ)1次・2次, 音楽学部音楽環境創造科2次(面接)は志願者ごとに日程が異なる。

音楽学部器楽科(弦楽器・管打楽器)1次・2次, 音楽学部邦楽科1次・2次, 音楽学部楽理科2次(副科実技)は専攻楽器等の種類により日程が異なる。ただし, 同一専攻楽器でも志願者ごとに日程が異なることがある。



【表3】平成28年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について（美術学部）

学部・学科等名 及び入学定員等 （平成27年度 志願倍率）		学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名 ※（必）は必須科目、（選）は選択科目			個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等	その他の 選抜 方法等
			教科	科目名等	受験を要する 教科・科目数	教科等	科目名等	2段階 選抜		
美術学部 11.4倍	絵 画 科	日本画 25人	前期 ・ 別 紙 日 程 の と お り	国語（必）	「国語」	3教科3科目 又は4科目	その他	実技検査 〔鉛筆素描〕 〔着彩写生〕	-	指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎又は地学基礎のうち2科目を受験した場合は2科目の合計得点）を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付していない科目）において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。地理歴史、公民、数学、理科の得点については、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。 ※理科（基礎を付していない科目）とは、物理、化学、生物及び地学を指す。 ※「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課し、それを含めて「英語」の評価とする。筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用する。 ●1次：個別学力検査等の成績により合否を判定する。●2次：2次個別学力検査等までの成績に、大学入試センター試験成績と出願書類（調査書等）の審査を加え、総合的に判定し、合否を決定する。
				外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1科目					
	地理歴史（選）	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」 から1科目								
	公民（選）	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」								
	数学（選）	「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」、 から1科目								
234人 前期のみ 【注1】	油 画	55人	国語（必）	「国語」	3教科3科目 又は4科目	その他	実技検査 〔素描〕 〔絵画〕	-	指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎又は地学基礎のうち2科目を受験した場合は2科目の合計得点）を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付していない科目）において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。地理歴史、公民、数学、理科の得点については、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。 ※理科（基礎を付していない科目）とは、物理、化学、生物及び地学を指す。 ※「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課し、それを含めて「英語」の評価とする。筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用する。 ●1次：個別学力検査等の成績により合否を判定する。●2次：2次個別学力検査等までの成績に、大学入試センター試験成績と出願書類（調査書等）の審査を加え、総合的に判定し、合否を決定する。	
			外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1科目						
	地理歴史（選）	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」 から1科目								
	公民（選）	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」								
	数学（選）	「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」、 から1科目								
彫 刻 科	20人	国語（必）	「国語」	3教科3科目 又は4科目	その他	実技検査 〔素描〕 〔彫刻〕	-	指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎又は地学基礎のうち2科目を受験した場合は2科目の合計得点）を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付していない科目）において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。地理歴史、公民、数学、理科の得点については、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。 ※理科（基礎を付していない科目）とは、物理、化学、生物及び地学を指す。 ※「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課し、それを含めて「英語」の評価とする。筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用する。 ●1次：個別学力検査等の成績により合否を判定する。●2次：2次個別学力検査等までの成績に、大学入試センター試験成績と出願書類（調査書等）の審査を加え、総合的に判定し、合否を決定する。		
		外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1科目							
		地理歴史（選）	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」 から1科目							
		公民（選）	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」							
		数学（選）	「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」、 から1科目							
工 芸 科	30人	国語（必）	「国語」	3教科3科目 又は4科目	その他	実技検査 〔鉛筆写生〕 〔平面表現〕 〔立体表現〕	-	指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎又は地学基礎のうち2科目を受験した場合は2科目の合計得点）を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付していない科目）において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。地理歴史、公民、数学、理科の得点については、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。 ※理科（基礎を付していない科目）とは、物理、化学、生物及び地学を指す。 ※「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課し、それを含めて「英語」の評価とする。筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用する。 ●1次：個別学力検査等の成績により合否を判定する。●2次：2次個別学力検査等までの成績に、大学入試センター試験成績と出願書類（調査書等）の審査を加え、総合的に判定し、合否を決定する。		
		外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1科目							
		地理歴史（選）	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」 から1科目							
		公民（選）	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」							
		数学（選）	「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」、 から1科目							
デ ザ イ ン 科	45人	国語（必）	「国語」	3教科3科目 又は4科目	その他	実技検査 〔鉛筆写生〕 〔デザインI（色彩）〕 〔デザインII（形体）〕	-	指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎又は地学基礎のうち2科目を受験した場合は2科目の合計得点）を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付していない科目）において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。地理歴史、公民、数学、理科の得点については、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。 ※理科（基礎を付していない科目）とは、物理、化学、生物及び地学を指す。 ※「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課し、それを含めて「英語」の評価とする。筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用する。 ●1次：個別学力検査等の成績により合否を判定する。●2次：2次個別学力検査等までの成績に、大学入試センター試験成績と出願書類（調査書等）の審査を加え、総合的に判定し、合否を決定する。		
		外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1科目							
		地理歴史（選）	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」 から1科目							
		公民（選）	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」							
		数学（選）	「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」、 から1科目							
建 築 科	15人	国語（必）	「国語」	5教科6科目	その他	実技検査 〔空間構成〕 〔総合表現〕	-	地理歴史及び理科（基礎を付していない科目）において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。合計800点とする。 ※理科（基礎を付していない科目）とは、物理、化学、生物及び地学を指す。 ※「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課し、それを含めて「英語」の評価とする。筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用する。 ●個別学力検査等の成績に、大学入試センター試験成績と出願書類（調査書等）の審査を加え、総合的に判定し、合否を決定する。一次合格者選抜は行わない。		
		数学（必）	「数学I・数学A」及び「数学II・数学B」の2科目							
		外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1科目							
		地理歴史（必）	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」 から1科目							
		理科（必）	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から1科目							
先 端 芸 術 表 現 科	24人 【注1】	国語（必）	「国語」	3教科3科目 又は4科目	その他	実技検査〔素描〕、 小論文から1（出願時に選択） 〔総合実技〕 〔個人資料ファイル〕 【注2】	-	指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎又は地学基礎のうち2科目を受験した場合は2科目の合計得点）を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付していない科目）において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。地理歴史、公民、数学、理科の得点については、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。 ※理科（基礎を付していない科目）とは、物理、化学、生物及び地学を指す。 ※「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課し、それを含めて「英語」の評価とする。筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用する。 ●1次：個別学力検査等の成績と大学入試センター試験成績を参考にし、総合的かつ個別に判定し、合否を決定する。●2次：2次個別学力検査等までの成績に、出願書類（調査書等）の審査を加え、総合的に判定し、合否を決定する。		
		外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1科目							
		地理歴史（選）	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」 から1科目							
		公民（選）	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」							
		数学（選）	「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」、 から1科目							
芸 術 学 科	20人	国語（選）	「国語」	3教科3科目 又は4科目	地歴	世B、日B から1	-	指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い3教科・3科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎又は地学基礎のうち2科目を受験した場合は4科目の合計得点）を評価する。 ただし、地理歴史及び理科（基礎を付していない科目）において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。地理歴史、数学、理科の得点については、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。 ※理科（基礎を付していない科目）とは、物理、化学、生物及び地学を指す。 ※「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課し、それを含めて「英語」の評価とする。筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用する。 ●1次：個別学力検査等の成績（400点）に、大学入試センター試験の成績（600点）を加え、その合計点（1000点満点）により合否を判定する。 ●2次：1次の成績（1000点満点）と2次個別学力検査等（200点満点）の合計点1200点に、出願書類（調査書等）の審査を加え、総合的に判定し合否を決定する。なお、最終合格者は2次個別学力検査等の選択科目（小論文又は実技）ごとに判定し、合格者数は原則として、2次個別学力検査等の受験者数に応じて比例配分する。		
		地理歴史（選）	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」 から1科目							
		数学（選）	「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」、 から1科目							
		理科（選）	「簿記・会計」、「情報関係基礎」							
		外国語（選）	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 から2科目 又は、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から1科目							

【注1】美術学部先端芸術表現科では、本学における教育研究組織の整備等に伴い、文部科学省へ入学定員改定の認可申請を行っています（本要項記載の定員は改定後のもの）。入学定員、募集人員については、文部科学省の審査の上確定するもので、現在のところ未確定です。

なお、定員の改定が認可された場合は、改めて入学定員、募集人員の変更について、本学ホームページにより公表しますので、必ず確認してください。

【注2】個人資料ファイル（受験者の活動内容をまとめたもの）を提出しなければならない。

【注3】理科の選択科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の4科目の中から2科目、又は、物理、化学、生物、地学の4科目の中から1科目のいずれかとする。

【注4】旧教育課程履修者に対する経過措置としての出題科目については、P.12を参照すること。

【表4】平成28年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について（音楽学部）

学部・学科等名 及び入学定員等 （平成27年度 志願倍率）	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名 ※（必）は必須科目、（選）は選択科目			個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等	その他の 選抜 方法等		
		教科	科目名等	受験を要する 教科・科目数	教科等	科目名等	2段階 選抜				
音楽学部 3.6倍 237人 前期のみ	前期 ・ 別紙 日程 の と お り	作曲科 15人	国語（必）	「国語」	2教科2科目	その他	実技検査 (専攻実技・聴音書き取り・楽 典・新曲視唱・リズム課題・ 副科ピアノ・ピアノ新曲)	-	指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。「外国語」のうち「英語」 を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点） の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、最終判定に用いる。個別学力検査等の成績を重視する。	追加合格	
			外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」 から1科目							
		声楽科 54人	国語（必）	「国語」	2教科2科目	その他	実技検査 (専攻実技・新曲視唱・リズム 課題・コールユーブンゲンを含 む)・聴音書き取り・楽典・ 副科ピアノ)	-	指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。「外国語」のうち「英語」 を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点） の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、最終判定に用いる。個別学力検査等の成績を重視する。	追加合格	
			外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」 から1科目							
		器楽科 98人	ピアノ 古 楽 オルガン 弦楽器	国語（必）	「国語」	2教科2科目	その他	実技検査 (専攻実技・聴音書き取り・楽 典・新曲視唱・リズム課題)	-	指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。「外国語」のうち「英語」 を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点） の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、最終判定に用いる。個別学力検査等の成績を重視する。	S S P [飛び入学] 【注5】 追加合格
				外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」 から1科目						
		管打楽器	98人	国語（必）	「国語」	2教科2科目	その他	実技検査 (専攻実技・聴音書き取り・楽 典・新曲視唱・リズム課題・ 副科ピアノ)	-	指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。「外国語」のうち「英語」 を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点） の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、最終判定に用いる。個別学力検査等の成績を重視する。	S S P [飛び入学] 【注5】 追加合格
外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」 から1科目										
指揮科 2人		国語（必）	「国語」	2教科2科目	その他	実技検査 (専攻実技・楽典・副科ピ アノ・和声)	-	指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。「外国語」のうち「英語」 を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点） の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、最終判定に用いる。個別学力検査等の成績を重視する。	追加合格		
邦楽科 25人		国語（必）	「国語」	2教科2科目	その他	実技検査 (専攻実技・楽典)	-	指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。「外国語」のうち「英語」 を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点） の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、最終判定に用いる。個別学力検査等の成績を重視する。	追加合格		
楽理科 23人		国語（必）	「国語」	3教科3科目 又は4科目	国 外 その他	国（国語総合・現代文B・古 典B） 英（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・ コミュ英Ⅲ）、独、仏か ら1 実技検査 (聴音書き取り・楽典・新曲視 唱・リズム課題・副科実技・ 和声) 小論文（口述試問を含む）	-	指定した教科・科目の配点は「国語200点」、「外国語200点」、「地理歴史、公民、数学、理科のうち1教科100 点」とし、合計500点とする。 「地理歴史、公民、数学、理科」に関しては、指定した教科・科目数を超過して受験した場合、これらのうち 最も得点の高い1教科1科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎及び地学基礎を受験した場合は2科目の合計得点） を評価対象とする。 ただし、「地理歴史、公民、理科（基礎を付していない科目）」において、2科目受験した場合は、第1解答科 目の成績を評価対象とする。 ※理科（基礎を付していない科目）とは、物理、化学、生物及び地学を指す。 ※「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記（200点満点） とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、1次・最終判定に用いる。センター試験の成績及び個別学力検査等の成績を総合し て判定する。	追加合格		
外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1科目										
地理歴史（選）	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」 } から1科目										
公民（選）	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」										
数学（選）	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 } から1科目										
理科（選）	「簿記・会計」、「情報関係基礎」										
理科（選）	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 から2科目 又は、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から1科目										
音楽環境 創造科 20人		国語（必）	「国語」	3教科3科目 又は4科目	音楽 その他	音楽（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）【注1】 小論文 面接（自己表現を含む）  (志望理由書)【注2】	-	指定した教科・科目の配点は「国語200点」、「外国語200点」、「地理歴史、公民、数学、理科のうち1教科100 点」とし、合計500点とする。 「地理歴史、公民、数学、理科」に関しては、指定した教科・科目数を超過して受験した場合、これらのうち 最も得点の高い1教科1科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎及び地学基礎を受験した場合は2科目の合計得点） を評価対象とする。 ただし、「地理歴史、公民、理科（基礎を付していない科目）」において、2科目受験した場合は、第1解答科 目の成績を評価対象とする。 ※理科（基礎を付していない科目）とは、物理、化学、生物及び地学を指す。 ※「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記（200点満点） とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 ●1次：個別学力検査等の成績（200点）に、大学入試センター試験の成績（500点）を加え、その合計点（700 点満点）により可否を判定する。 ●2次：1次の成績（700点満点）に、2次の小論文（100点）および面接（200点）の成績を加え、その合計 点（1000点満点）により可否を判定する。	追加合格		
外国語（必）	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1科目										
地理歴史（選）	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」 } から1科目										
公民（選）	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」										
数学（選）	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 } から1科目										
理科（選）	「簿記・会計」、「情報関係基礎」										
理科（選）	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 から2科目 又は、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から1科目										

【注1】音楽（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）は高等学校で使用されている音楽の教科書「音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」程度を出題範囲とする。

【注2】志望理由書（800字以内。所定の用紙に手書きで記入のこと）を願書とともに提出しなければならない。

【注3】楽理科と音楽環境創造科における理科の選択科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の4科目の中から2科目、又は、物理、化学、生物、地学の4科目の中から1科目のいずれかとする。

【注4】旧教育課程履修者に対する経過措置としての出題科目については、P.12を参照すること。

【注5】音楽学部S S P [飛び入学] 入学者選抜は器楽科ピアノ専攻・弦楽専攻（ヴァイオリン、チェロ）で実施する。

### ○旧教育課程履修者に対する経過措置

本学で課す平成28年度大学入試センター試験の利用教科・科目の「数学」について、下記の学部・選抜においては、旧教育課程履修者に限り「工業数理基礎」を選択解答できるものとする。なお、新教育課程履修者は「工業数理基礎」を選択解答できない。

学 部	学 科		入学者選抜の区分
美術学部	絵画科	日本画専攻	一般入試（前期日程）
		油画専攻	一般入試（前期日程）
	彫刻科		一般入試（前期日程）
	工芸科		一般入試（前期日程）
	デザイン科		一般入試（前期日程）
	先端芸術表現科		一般入試（前期日程）
	芸術学科		一般入試（前期日程）
音楽学部	楽理科		一般入試（前期日程）
	音楽環境創造科		一般入試（前期日程）

(注)

新教育課程履修者	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成25年4月に入学し、平成28年3月卒業見込みの者 ②中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 ※ 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を平成28年3月卒業見込であるが、入学は平成25年3月以前の者など、上記に該当しない者

※「新教育課程」とは、平成25年4月1日から適用された高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）に基づく教育課程及び平成21年3月9日文部科学省告示第38号の特例により定められた教育課程をいい、「旧教育課程」とは、従前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいう。

## 6. 私費外国人留学生

外国の国籍を有し、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得見込みの者で、下記の出願資格のいずれかに該当する者。

大学入試センター試験は課さないが、独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成27年度「日本留学試験」を本学が定めた（下記『「日本留学試験」出題科目等について』を参照）とおり受験しなければならない。美術学部募集人員は入学定員内として若干人、音楽学部募集人員は入学定員外として若干人であり、本学が実施する個別試験及び提出された書類並びに「日本留学試験」の成績の各資料等を総合して判定する。

### 出願資格

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの
- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格のいずれかを取得した者及び平成28年3月31日までに取得見込みの者で、平成28年3月31日までに18歳に達する者
- (3) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンブシャー市に主たる事務所が所在する団体であるヨーロピアン・カウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズの認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者で、平成28年3月31日までに18歳に達する者

（注）日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月31日までに卒業見込みの者は対象とならない。

平成27年度「日本留学試験」については、下記まで問い合わせること。

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課  
所在地 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL 03-6407-7457  
ホームページ <http://www.jasso.go.jp>

### 「日本留学試験」出題科目等について

- 美術学部（建築科、先端芸術表現科）  
「日本語」、「数学」、「理科」又は「日本語」、「数学」、「総合科目」のいずれかを受験すること。
  - ・数学の「コース1」と「コース2」の選択は、受験者本人が行うこと。
  - ・「理科」の物理・化学・生物から2科目選択は、受験者本人が行うこと。
- 音楽学部、美術学部（建築科、先端芸術表現科以外の学科）  
「日本語」及び「総合科目」を受験すること。
- 共通事項
  1. 日本語科目以外において、日本語及び英語による出題については、いずれを受験してもよい。
  2. 渡日前の入学許可は行わない。（外国において本学の入学者選抜は行わない。）
  3. 6月・11月実施のいずれの試験を受験してもよい。

（特別入試）

## 7. 帰国子女入試

美術学部先端芸術表現科において帰国子女入試を実施する。【〔表1〕（その2）3頁及び〔表5〕14頁参照】

〔表5〕

平成28年度東京藝術大学帰国子女入試

実施学部・学科名	美術学部 先端芸術表現科
募集人員	若干人（一般入試の募集人員24人に含む。）
出願要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、外国の学校教育を受けている者のうち、次のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) (地理的・場所的に) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成26年（2014年）4月1日から平成28年（2016年）3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者。</p> <p>ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学し、教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格のいずれかを、平成26年（2014年）又は平成27年（2015年）に取得した者で、平成28年（2016年）3月31日までに18歳に達する者。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、一般入試志願者と同一の試験により選抜する。</p> <p>第1次：実技（素描）又は小論文 第2次：総合実技</p> <p>※第1次試験は、志願者が出願時に実技（素描）又は小論文のいずれかを選択する。志願者は個人資料ファイル等（一般入試志願者と同様のもの）を提出しなければならない。 [個人資料ファイル提出期間：平成28年2月15日（月）～2月19日（金）必着]</p>
出願期間	<p>平成27年12月25日（金）～平成28年1月6日（水）</p> <p>※郵送（書留速達）による出願のみとし、郵便局の消印が上記期間内のものに限り受け付ける。</p> <p>※平成27年12月29日（火）～平成28年1月3日（日）は冬期休業のため注意すること。</p>
選抜期日	<p>先端芸術表現科の一般入試志願者と同一期日</p> <p>第1次：平成28年2月25日（木）（実技選択者）、26日（金）（小論文選択者）</p> <p>第2次：平成28年3月2日（水）、3日（木）</p>
最終合格発表日	平成28年3月13日（日）
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>この選抜に関する学生募集要項は平成27年11月下旬頃に公表し、配布する予定です。郵便で請求する場合は、請求する封筒の表に「<b>帰国子女入試学生募集要項請求</b>」と朱書の上、返信用封筒（角形2号封筒 [24.0×33.2cm] に住所・氏名を明記し、250円切手を貼付したもの）を同封し、<b>東京藝術大学美術学部教務係</b>へ請求してください。（P27参照）</li> <li>本学美術学部個別試験（一般入試…分離分割方式の前期日程）を併せて受験する場合、先端芸術表現科及び上記日程と試験期日が重なる絵画科日本画専攻、絵画科油画専攻、工芸科への出願は認めない。</li> </ul>



## 8. 東京藝術大学音楽学部SSP (Special Soloist Program) [飛び入学] 入学者選抜

音楽学部器楽科において東京藝術大学音楽学部SSP (Special Soloist Program) [飛び入学] 入学者選抜を実施する。【15頁及び〔表6〕16頁参照】

### 東京藝術大学音楽学部SSPの趣旨・目的等

東京藝術大学音楽学部SSPの目的は、音楽分野における卓越した才能を高度に発展させ、我が国はもとより世界的な音楽文化の振興に対して生涯にわたって貢献する個性的・先駆的な人材を戦略的に育成することです。類い希な表現力や高度な専門的技術、強靱なメンタル等のきわめて優れた資質・能力を有し、将来的に国際舞台での活躍を志す若者に対して、入学当初から特色ある高度な大学教育の機会を提供するものです。

なお、本プログラムの特徴として、次の特別カリキュラム等が用意されます。

- 1) 個人レッスン時間を通常カリキュラムから倍増すること
- 2) 海外一流演奏家による特別レッスンはじめ、海外一流音楽大学等への留学や国際舞台における演奏の機会等を優先的に提供すること
- 3) 選択科目は実技教員と検討の上、自由な組み合わせ（語学科目に重点を置く等）が可能となること
- 4) 成績優秀者については、学部を3年間で早期卒業して、大学院進学や海外留学を可能とする特別カリキュラムを編成するとともに、授業料免除や特別奨学金による経済的支援を開始すること
- 5) 複数教員による手厚い指導・サポート体制等、充実したキャリア形成支援を行うこと

本プログラムでは、世界最高水準の指導体制・教育環境のもと、質の高い専門実技教育や、それを支える音楽理論等の幅広い学びを通じて、技術や知性、感性を徹底的に磨き上げることにより、将来、国際的な音楽家として新たな地平を開拓し歴史に名を刻む強い意志と意欲を持った学生を求めています。

### 入学者選抜における基本方針

提出書類（自己推薦書、推薦書、調査書等）、専攻実技試験、基礎能力検査及び面接により、多角的な視点から学生の資質・能力を評価し、総合的に可否を決定します。

- ・ 自己推薦書では、国際コンクールにおける入賞歴等、これまでの音楽活動における顕著な業績などを高く評価します。
- ・ 推薦書及び調査書等では、早期に大学教育を受けるために必要な基礎学力などを評価します。
- ・ 専攻実技試験、基礎能力検査及び面接では、海外一流演奏家にも参画していただく場合もあり、音楽の基礎能力及び専攻実技に関する表現力などを評価します。

### 入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校における基礎的な学力を修得していること。さらに、専攻実技に関する高度な技能と豊かな表現力を身に付けていることを望みます。

〔表6〕

平成28年度東京藝術大学音楽学部SSP (Special Soloist Program) [飛び入学]

実施学部・学科等名	音楽学部器楽科 ピアノ専攻, 弦楽専攻 (ヴァイオリン, チェロ)
募集人員	若干名
出願要件	<p>学校教育法第90条第1項又は同条第2項の規定により大学入学資格を有する者で, 次の二つの要件を満たし, 高等学校長等が責任をもって推薦するもの</p> <p>(1)現在, 高等学校2年に在学している者で, 平成28年3月31日において年齢が満17歳以下の者(高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験合格者は, 満17歳の者)</p> <p>※外国人留学生も出願することができる。</p> <p>(2)次の専攻のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノ専攻: ピアノに関して優れた資質を有し, その探求を志す者で, 国際的に著名なコンクール等での入賞経験, 又はそれと同等の能力を持つ者。</li> <li>・弦楽専攻: 弦楽に関して優れた資質を有し, その探求を志す者で, 国際的に著名なコンクール等での入賞経験, 又はそれと同等の能力を持つ者。</li> </ul>
選抜方法等	<p>第1次選考: 書類審査</p> <p>第2次選考: 専攻実技試験, 基礎能力検査, 面接</p>
出願期間	<p>平成27年11月1日(日)～平成27年11月5日(木)</p> <p>郵送による出願とし, 上記の期間内消印有効とします。</p> <p>(注) 入学願書を直接大学に持参したもの, 又は郵便局の消印が上記期間外のものを受理しないので注意してください。</p>
選抜期日	<p>第1次選考 平成27年11月12日(木)に本人宛に合否通知を郵送します。</p> <p>第2次選考 平成27年11月21日(土) ピアノ専攻「専攻実技試験, 面接」</p> <p>平成27年11月23日(月) ピアノ専攻「基礎能力検査」</p> <p>弦楽専攻「専攻実技試験, 基礎能力検査, 面接」</p>
最終合格発表日	<p>平成27年11月30日(月)</p> <p>※本人及び推薦書を作成した高等学校長等宛に合否通知を郵送します。</p>
その他	<p>・この選抜に関する学生募集要項は平成27年6月22日(月)に本学ホームページ上で公表し, 平成27年7月から配布しています。郵便で請求する場合は, 請求する封筒の表に「<b>音楽学部SSP学生募集要項請求</b>」と朱書の上, 返信用封筒(角形2号封筒[24.0×33.2cm]に住所・氏名・郵便番号を明記し, 250円切手を貼付したもの)を同封し, <b>東京藝術大学音楽学部教務係</b>へ請求してください。</p>

## 9. 障害のある入学志願者の事前相談について

下表（学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠）に該当する者は、受験及び修学の際に特別な措置を必要とすることがあるので、各学部学生募集要項の発表後から平成28年1月8日（金）、音楽学部SSP〔飛び入学〕入学者選抜の場合は平成27年10月9日（金）までの間に、志望する学部と相談すること。

ただし、体幹及び両上下肢の機能障害が著しく、大学入試センター試験で「代筆解答」の措置を申請する志願者が本学に出願する場合は、大学入試センター試験出願以前のできるだけ早い時期に、志望する学部と緊密に相談すること。

なお、出願締切以後の不慮の事故による負傷者等においても、下表に該当する場合は、速やかに出願した学部と相談すること。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 （強度の弱視） （を含む。）	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 （強度の難聴） （を含む。）	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもので、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 （身体虚弱を） （含む。）	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記の区分以外の者で特別措置を必要とする者

注1. 事前相談には、相当の日数を要する場合もあるので、十分注意すること。

2. 高等学校を卒業した者は、学部との事前相談に際し、出身学校長等とも相談すること。

## 10. 平成28年度からの東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について

### 1. 美術学部デザイン科入学者選抜（一般入試）を、次のように変更します。

実技検査における第1次試験「鉛筆写生」が選択制となります。

一次選抜「鉛筆写生」は下記2つのいずれかを出願時に選択すること。

#### 1) 石膏像デッサン

「石膏像を中心としたモチーフを描写する」

#### 2) 構成デッサン

「設定されたモチーフ（実物に限らず、想定のもちーフも含む）を自由に構成して描写する」

問題例や作例を東京藝術大学デザイン科ホームページに掲載しています。

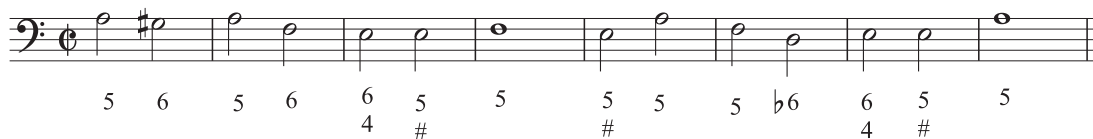
<http://design.geidai.ac.jp>

### 2. 音楽学部指揮科及び楽理科入学者選抜（一般入試）の実技検査のうち「和声」について、次の例題に準じた出題に変更します。

音楽学部指揮科・楽理科 入学試験課題（例題）

（和声）

#### 1) 次の数字付き低音によるバス課題を四声体で実施しなさい。



#### 2) 次のソプラノ課題を四声体で実施し、可能であればバス声部の下に和音数字（5, 6など）を書きなさい。



3. 音楽学部邦楽科「現代邦楽囃子分野（打楽器・笛）」・「現代箏曲分野（山田流・生田流共通）」（新設）の入学者選抜（一般入試）を次のとおり実施します。

◎大学入試センター試験

国語（必修）

外国語（必修）：「英語（リスニングテストを含む）」「ドイツ語」「フランス語」から1科目

◎本学部が実施する個別学力検査等

○現代邦楽囃子分野（打楽器・笛）

第1次 課題曲演奏（1曲）〈打楽器・笛共通〉

第2次 打楽器・笛各課題曲演奏（指定3曲より試験当日1曲指定），五線譜による初見視奏（打楽器は大太鼓，笛は竹笛），面接

第3次 楽典

○現代箏曲分野〈山田流・生田流共通〉

第1次 課題曲演奏（指定4曲より2曲選択）

第2次 自由曲演奏（1曲），五線譜による初見視奏，面接

第3次 楽典

注）「平成27年度 東京藝術大学学生募集要項（音楽学部・別科）」において発表した内容から，以下のとおり一部変更します。

○現代箏曲分野〈山田流・生田流共通〉

変更前：第1次 課題曲演奏（指定2曲より1曲選択）

第2次 課題曲演奏（指定4曲より2曲選択），五線譜による初見視奏，面接

↓

変更後：第1次 課題曲演奏（指定4曲より2曲選択）

第2次 自由曲演奏（1曲），五線譜による初見視奏，面接

※音楽学部邦楽科「現代邦楽囃子分野（打楽器・笛）」・「現代箏曲分野（山田流・生田流共通）」の新設について

平成28年度より，音楽学部邦楽科邦楽囃子専攻に現代邦楽囃子分野（打楽器・笛），箏曲専攻に現代箏曲（山田流・生田流共通）を加えます。これらの新分野では時代に即応した独創性・創造性に富んだ人材の育成を目指します。邦楽器アンサンブルや多種多様な音楽とのアンサンブル等を総合的に身につけ，古典の修練をも積んだ人材を育成します。邦楽器の伝統を継承し紡ぐと同時に，新たな邦楽器の可能性を見つめ切り拓き世界的に活躍していける人材を求めます。

現代邦楽囃子，現代箏曲共通

必修科目の他に，選択科目では各学生の修得カリキュラムを自由に組み立てることができます。

日本・東洋音楽史，西洋音楽史，邦楽合奏研究（邦楽オーケストラ実習），現代邦楽室内楽（小編成のアンサンブル法），現代邦楽作曲法，西洋音楽理論，ソルフェージュ，指揮法等を選択履修することができます。

現代邦楽囃子分野（打楽器・笛）

現代邦楽の各専門実技に加え，古典邦楽囃子実技（太鼓・大鼓・小鼓・笛）を毎年履修します。その他に，歌舞伎下座大太鼓，江戸祭囃子実技，副専攻として長唄・長唄三味線・尺八・箏曲等を選択履修できます。

現代箏曲（山田流・生田流共通）

現代箏曲の専門実技に加え，それぞれの専攻の古典箏曲実技，古典三絃実技を履修することができます。

音楽学部邦楽科邦楽囃子専攻に現代邦楽囃子分野（打楽器・笛），箏曲専攻に現代箏曲分野（山田流・生田流共通）を加え（下表の下線部分），以下のとおりとなります。

科	専攻	分野	募集人員
邦楽	三味線音楽	長唄三味線	25 ※専攻毎の定員は設けない
		常磐津三味線	
		清元三味線	
		長唄	
		常磐津	
		清元	
	邦楽囃子	邦楽囃子	
		<u>現代邦楽囃子（打楽器・笛）</u>	
	日本舞踊		
	箏曲	山田流	
		生田流	
		<u>現代箏曲</u>	
	尺八		
	能楽（囃子を除く）		
能楽囃子			
雅楽			

邦楽科の入学定員（25名）に変更（増員）はありません。

## 11. 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）に基づき、本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

### 1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用します。

### 2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- (1) 上記1. (1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- (3) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
  - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
  - ②杜の会（美術学部同窓会）
  - ③同声会（音楽学部同窓会）
  - ④東京藝術大学生生活協同組合

## 12. 学部・学科の内容

本学の専門教育の特色は、美術学部においては主としてアトリエを中心とした制作活動に、音楽学部においては個人レッスンを中心とした個人指導によって学生の実技修練、創造性の開発を図ることにある。

学部・学科及び専攻等は、次のとおりである。

### 美術学部

学 科	専 攻	主 な 専 門 科 目
絵 画 科	日 本 画	日本画実技制作，素描，古典模写，版画，壁画 (1～4年次)
	油 画	基礎実技課程1～2年次，専門実技課程3～4年次 (ドローイング，絵画，現代美術，版画，壁画，油画技法・材料)
彫 刻 科		素描，塑造，木彫，石彫，金属，テラコッタ，その他実材造形 (1～4年次)，古典研究(2年次)，彫刻論(2・3年次)
工 芸 科	彫 鍛 金 金 金 金 金 芸 漆 芸 陶 芸 染 織	基礎実技 基礎造形実習，絵画実習，塑造実習 (1年次) 実材実習，専攻基礎実技 (2年次) 各専攻実技 (3～4年次)
デザイン科		基礎実技・デザイン実技・デザイン技法 (1年次) デザイン実技・デザイン技法 (2年次) デザイン実技・他にデザイン専門科目 (3～4年次)
建 築 科		設計製図(1～4年次) 他に「建築計画」等専門科目
先端芸術 表現科		実技，基礎・専門(1～4年次) 概論・演習(1～3年次) 他にメディア・リテラシー基礎・応用他 インターメディアアート専門科目(1～4年次)
芸術学科		美学・日本美術史・東洋美術史・西洋美術史・工芸史の概説，概論 (1～3年次) 基礎実技(油画・日本画・彫刻，1～2年次) 特殊講義・演習(1～4年次) 古美術研究旅行(2年次) 卒業論文(4年次)

備考 詳細については、「大学案内」を参考にする。



音楽学部

学 科	専攻 (声種・楽器等)	主 な 専 門 科 目
作 曲 科		作曲実技Ⅰ，Ⅱ，厳格対位法とフーガ，管弦楽法 (実習)，楽曲解析，作曲研究，学内演奏 (4年次)，ピアノ (1～2年次)，ソルフェージュ，卒業作品
声 楽 科	独 唱 オ ペ ラ (ソプラノ) (アルト) (テノール) (バス)	声楽実技 (1～4年次)，合唱 (1～3年次)，声楽アンサンブル (室内合唱) (3～4年次)，学内演奏，オラトリオ，オペラ基礎，オペラ実習，声楽史，オペラ史，ピアノ，ソルフェージュ，和声，卒業演奏
器 楽 科	ピ ア ノ オ ル ガ ン 弦 楽 楽 器 管 打 楽 器 古 楽 (バロックヴァイオリン) (リコーダー) (チェンバロ)	各専門楽器実技 (1～4年次)，学内演奏会 (3～4年次)，ソルフェージュ，西洋音楽史，和声 (1～2年次)，卒業演奏 以上は各専攻共通，以下は各専攻により加わるもの (ピアノ) 合奏 (1～4年次)，伴奏 (1～2年次) (オルガン) 通奏低音実習 (1～2年次)，オルガン概論 (1年次) (弦 楽) ピアノ (1年次)，弦楽合奏 (1年次)，室内楽 (1～4年次)，オーケストラ (2～4年次) (管 打 楽) ピアノ (1年次)，室内楽 (1～4年次)，吹奏楽，オーケストラ (2～4年次) (古 楽) 古楽アンサンブル (1～4年次)，通奏低音実習 (1年次)
指 揮 科		指揮実技，指揮理論 (1～4年次)，学内演奏 (4年次)，ピアノ (1～2年次)，スコアリーダー，ソルフェージュ，弦管打楽器実技，和声 (1～2年次)，卒業演奏
邦 楽 科	三 味 線 音 楽 (長唄三味線) (常磐津三味線) (清元三味線) 長 唄 常 磐 津 清 元 箏 曲 (山 田 流) (生 田 流) (現代箏曲*) 尺 八 能 楽 囃 子 邦 楽 囃 子 (邦 楽 囃 子) (現代邦楽囃子*) (打楽器・笛) 日 本 舞 踊 雅 楽 ※平成28年度新設	各専攻実技 (1～4年次) 各専攻実技総合実習 (1～4年次)，学内演奏 (4年次)，各専攻関連実技 (1～4年次)，邦楽合奏研究 (3年次)，各専攻演奏論 (1～4年次)，邦楽実技論 (1～2年次)，ソルフェージュ，西洋音楽理論，卒業演奏，研究旅行 (3年次生優先)
楽 理 科		音楽学各分野の概説 (西洋音楽史，日本音楽史，東洋音楽史，音楽美学，音楽理論，音楽民族学)，初級演習，ソルフェージュ，和声，副科実技，講義，演習，楽書講読 (英，独，仏，羅，伊，日，中，露)，研究旅行，音楽学実習，卒業論文
音 楽 環 境 創 造 科		プロジェクト，音楽環境創造概論 (音楽，音響，芸術と社会，芸術論)，音楽理論演習，録音技法研究，音響心理研究法，芸術運営論，文化理論演習，舞台芸術論，卒業制作・研究

備考 詳細については、「大学案内」を参考にする。

### 13. 本学のキャンパス

本学のキャンパスは、「上野校地」、「取手校地」、「横浜校地」及び「千住校地」があります。

取手校地では、美術学部先端芸術表現科の2年次以降に対して授業を行っています。千住校地では、音楽学部音楽環境創造科が卒業時まで授業を行います。その他はすべて上野校地で授業を行います。

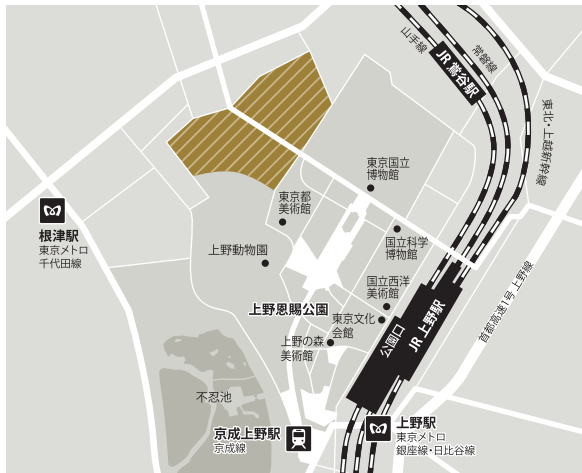
なお、従来取手校地で行っていた美術学部1年次の授業は、平成28年度より上野校地で実施します。横浜校地では、平成17年度より大学院映像研究科が展開しています。

#### 上野校地

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

##### [交通機関]

JR 上野駅（公園口）または鶯谷駅下車 徒歩10分  
 東京メトロ 銀座線・日比谷線 上野駅下車 徒歩15分  
 東京メトロ 千代田線 根津駅下車 徒歩10分  
 京成電鉄 京成上野駅下車 徒歩15分



#### 千住校地

〒120-0034 東京都足立区千住1-25-1

##### [交通機関]

JR/東京メトロ 千代田線・日比谷線/東武鉄道 東武伊勢崎線/  
 首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス 北千住駅（西口）下車 徒歩5分

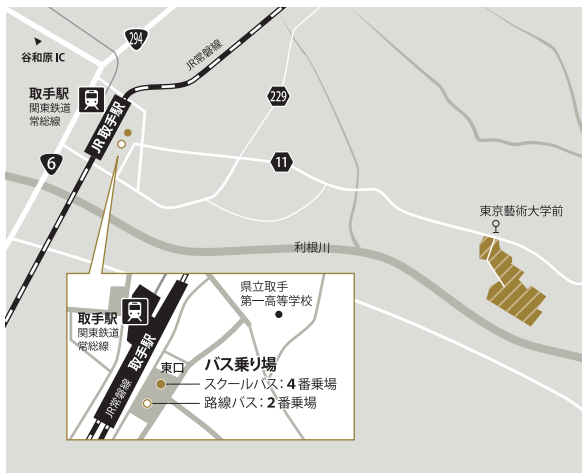


#### 取手校地

〒302-0001 茨城県取手市小文間5000

##### [交通機関]

JR 常磐線 取手駅※東口から大利根交通バスで約15分（約5.9km）  
 「東京藝術大学前」下車徒歩10分  
 ※上野駅から約40分



14. 学生募集要項（一般入試）等の請求方法（要項代は無料です。）

発行時期 美術学部学生募集要項 平成27年11月下旬  
音楽学部学生募集要項 平成27年12月上旬

【個別試験の出願期間（平成28年1月25日（月）～2月3日（水））を考慮し、十分余裕をもって請求してください。】

1. 本学ホームページから直接請求する場合

大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。

詳細については本学ホームページ入試案内の「資料請求」(<http://www.geidai.ac.jp/admission/data/request>)をご覧ください。

2. テレメールで請求する場合（インターネット・自動音声応答電話）

①インターネット（スマホ・携帯電話・パソコン）または自動音声応答電話をご利用ください。



インターネット（スマホ・携帯電話・パソコン）の場合	自動音声応答電話の場合	
<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a> 携帯電話各社、パソコンとも共通アドレスです。	I P 電話	050-8601-0101 (24時間受付)

バーコード  
※対応するスマホ・携帯電話で読み取れます。

※ I P 電話への一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

②請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力または、プッシュしてください。

資 料 名	資料請求番号
大学案内	562072
入学者選抜要項	582072
入学者選抜要項+大学案内	562052
美術学部募集要項+大学案内	542052
音楽学部募集要項+大学案内	542062

③あとはガイダンスに従って登録してください。

\*受付から2, 3日で送付されます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。なお、発送開始予定日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その日以降は随時発送対象となります。

\*自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

\*料金は、お届けした資料に同封されている料金支払い用紙の支払い方法に従いお支払いください。

上記1, 2の請求方法についてのお問い合わせ先：テレメールカスタマーセンター

TEL 050-8601-0102 (9:30~18:00)

### 3. 大学情報センターの「モバっちょ」で請求する場合

#### 携帯電話から

QRコード対応の携帯電話なら、QRコード（2次元バーコード）を読み取ってアクセスできます。



「モバっちょ」では、資料請求料金を携帯電話の通話料金と一緒に支払っていただけますので、郵便局等に払い込みに行く必要がなく、最も安く請求できます。

資料請求代金以外に、別途支払い手数料等は必要ありません。（パケット通信料を除く）

携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によってご利用できない場合がございます。

ホームページから（クレジットカード決済のみとなりますが同じ料金で請求できます）



【URL】 <http://djcmobile.jp/geidai3/>

このアドレスから直接資料の請求申し込みができます。

上記3の請求方法についてのお問い合わせ先

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

TEL. 050-3540-5005（平日 10:00～18:00）

#### 4. 本学へ直接請求する場合

##### イ. 藝大まで来られる場合

美術……第1 守衛所（美術学部正門）で配布。（請求部数の多い場合又は質問のある方は、美術学部教務係に申し出てください。）

音楽……第2 守衛所（音楽学部正門）で配布。（請求部数の多い場合又は質問のある方は、音楽学部教務係に申し出てください。）

##### ロ. 郵送で請求する場合

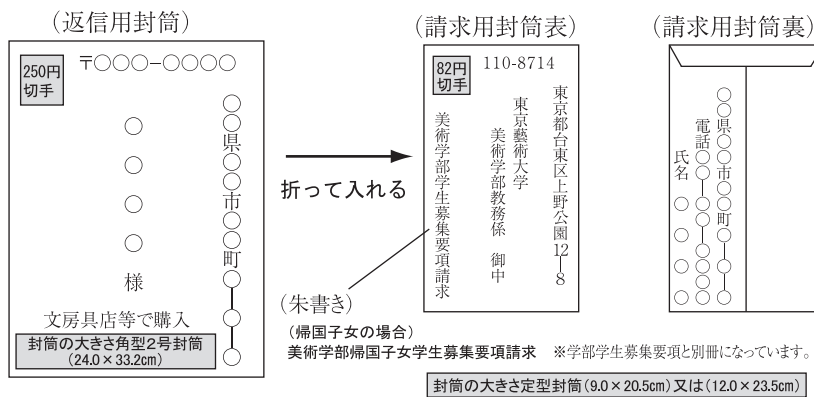
**美術は11月上旬、音楽は11月中旬から申し込みを受け付けますので、あなたの住所・氏名を美術は角型2号（24.0cm×33.2cm）、音楽は角型1号（27.0cm×38.2cm）の大きさの返信用封筒に記入し、美術は250円切手、音楽は400円切手を貼り、折りたたんで定型封筒に入れ送付してください。発行次第返送します。**（下図を参照すること。速達の場合は、美術は280円、音楽は380円を加算してください。）

##### ハ. 海外から請求する場合

美術は200g・音楽は500g 料金相当の国際返信用切手券を同封の上、請求してください。

#### 記入方法等の説明図

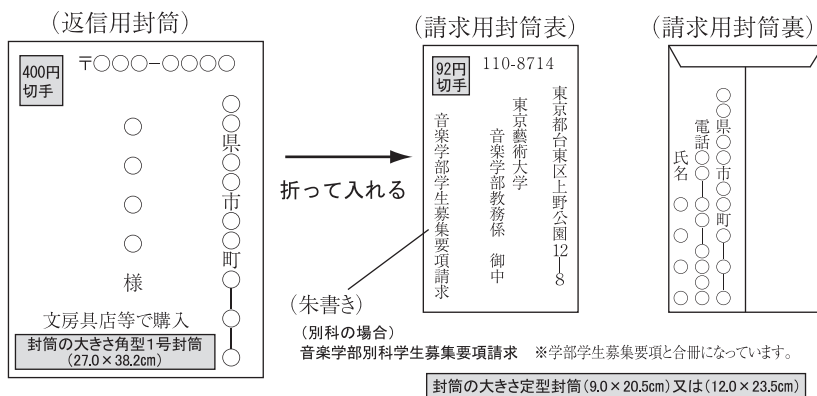
##### 美術学部



※美術学部先端芸術表現科の帰国子女入試、音楽学部器楽科のSSP〔飛び入学〕入試の学生募集要項を請求する場合は上記の1. 2. 3. (ホームページ・テレメール・モバっちょ)での請求はできません。藝大まで請求してください。

(P13参照)

##### 音楽学部



※『「課題曲及び試験内容」を記載した冊子』の郵送を希望する場合、音楽学部教務係宛に返信用封筒を送ってください。返信用封筒は、角型2号（24.0cm×33.2cm）を使用し、あらかじめ、ご自分の「郵便番号」「住所」「氏名」を明記し、切手（「副科実技等」及び「声楽科」の場合120円、「学部・別科」の場合205円）を貼ってください。返信用封筒を入れて教務係に送る請求用封筒には、請求内容（「副科実技等」・「声楽科」・「学部・別科」の別）を朱書きしてください。

(P6参照)

東京藝術大学への各種問い合わせについては、次により行ってください。

○入試案内 ホームページアドレス

<http://www.geidai.ac.jp/admission>

○入学者選抜等

事務局学生課入学試験係 ..... (☎050-5525-2075)

美術学部教務係 ..... (☎050-5525-2122)

音楽学部教務係 ..... (☎050-5525-2309)

電話による問い合わせの場合は、

月曜日から金曜日（ただし、土曜・日曜・祝祭日は除く。）

9時00分～12時30分，13時30分～17時00分

※やむを得ない場合を除き志願者本人が行うこと。